

みずほCustomer Desk Report 2019/09/10号(As of 2019/09/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.97
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	106.95	1.1020	117.86	1.2281	0.6847
SYD-NY High	107.28	1.1068	118.50	1.2385	0.6875
SYD-NY Low	106.76	1.1016	117.75	1.2233	0.6837
NY 5:00 PM	107.23	1.1046	118.48	1.2344	0.6865
NY DOW	26,835.51	38.05	日本2年債	-0.3200	▲2.00bp
NASDAQ	8,087.44	▲15.64	日本10年債	-0.2600	▲1.00bp
S&P	2,978.43	▲0.28	米国2年債	1.5938	5.56bp
日経平均	21,318.42	118.85	米国5年債	1.4995	6.92bp
TOPIX	1,551.11	14.01	米国10年債	1.6464	8.70bp
シカゴ日経先物	21,350	130	独10年債	-0.5835	5.65bp
ロンドンFT	7,235.81	▲46.53	英10年債	0.5890	8.75bp
DAX	12,226.10	34.37	豪10年債	1.0400	▲3.90bp
ハンセン指数	26,681.40	▲9.36	USDJPY 1M Vol	6.45	▲0.20%
上海総合	3,024.74	25.14	USDJPY 3M Vol	6.59	▲0.26%
NY金	1,511.10	▲4.40	USDJPY 6M Vol	6.70	▲0.20%
WTI	57.85	1.33	USDJPY 1M 25RR	-1.50	Yen Call Over
ORB指数	174.31	1.69	EURJPY 3M Vol	7.16	▲0.14%
ドルインデックス	98.28	▲0.11	EURJPY 6M Vol	7.32	▲0.14%

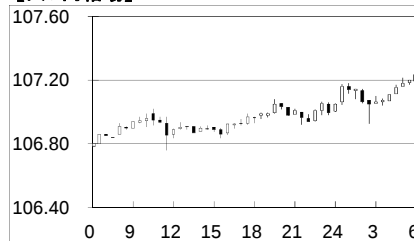
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月9日	8:50	日 経常収支	7月 ¥1999.9B	¥2046.0B
	8:50	日 貿易収支	7月 -¥74.5B	-¥24.0B
	8:50	日 GDP(前期比/前年比)・確報	2Q 0.3%/1.3%	0.3%/1.3%
	15:00	独 貿易収支/経常収支	7月 21.4B/22.1B	17.4B/16.4B
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 0.1%/-0.9%	-0.3%/-1.1%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	7月 0.3%/-1.2%	-0.3%/-1.2%

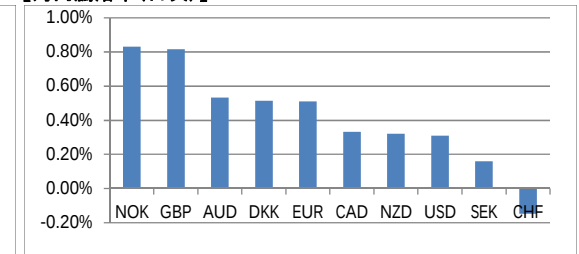
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月10日	10:30	中 CPI(前年比)	8月 2.7%	2.8%
	10:30	中 PPI(前年比)	8月 -0.9%	-0.3%
	17:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	7月 3.9%	3.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.80-107.80	1.1000-1.1100	117.80-119.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇。米長期金利の上昇を手がかりにドル買い・円売りが進展、目先の抵抗線であった5日の107.23円を上抜け、一時107.28円まで上昇した。
 本日のドル円はじり高推移を予想。前日のムニューシン米財務長官の「リセッションに陥る恐れはない」などの発言も好材料として市場からは受け止められており、市場のリスクセンチメントは改善している状況。本日は特段材料の無い中で、リスクオンムードが継続するものと考えられる。

東京	東京時間のドル円は106.95レベルでオープン。仲値にかけて上昇し107.02をつけたが、その後は12日にECB理事会を控えていることから様子見姿勢の狭いレンジでの取引となり、106.93レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.93レベルでオープン。先週末の雇用統計後と同水準にて横ばいで推移。今週からFEDがブラックアウト期間に入ったことや米中貿易問題に関するヘッドラインなどの特段の相場変動材料は見当たらず狭いレンジでの推移となり、106.96レベルでNYに渡った。ボンドは、1.2253レベルでオープン。英7月鉱工業生産指数と英7月貿易収支が市場予想を上回る結果となり、英経済への懸念が後退したことより1.2385まで買われ、1.2362レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	今後2週間で日米欧の金融政策が発表されることから、海外市場で方向感のない推移が続いたドル円は、106.96レベルでNYオープン。本日は主要米経済指標の発表がなく、FOMCを18日に控え、ブラックアウト期間からFedメンバー発言もない中、朝方は米銀大手がユーロ円の売りを終了し、ドル円のショート推奨するレポートを出したと伝わり、ムニューシン米財務長官がロシア製のミサイルを購入を巡り、「トルコに対し制裁を検討している」と話したが、「日本との貿易合意かなり近い」と発言したこともあり、ドル円はクロス円の買いに下値をサポートされ、107.06まで戻す。その後も来週の日銀金融政策決定会合で他主要中銀に追随し、日銀も行動に出る可能性があるとの思惑からドル円のショートカバーが強まっているとの見方もあり、ドル円は107.18まで戻す。午後に入り、株式市場がマイナスイメージに下落する動きを受け106.93まで反落するが、その後は狭いレンジでの推移が続き、終盤に掛けてドル買いが優勢となり107.28まで戻し、107.23レベルでクロスした。一方、ユーロドルも海外市場では1.1016~42の狭いレンジでの推移が続き、1.1037レベルでNYオープン。朝方は「ドイツ国内の債務ルール以上に影の予算で公共投資を増やす検討」と通信会社が報じたことから、ユーロドルは1.1059まで急伸する。その後も今週12日のECB理事会で量的緩和期待が後退する中、ユーロ買いが強まり、ユーロドルは1.1068まで戻す。終盤に掛けてはドル買い戻しにじり安で推移し、1.1046レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・玉井